

1 単元の内容

(1) 探究課題 「自分のキャリアデザインをしよう！」(キャリア教育)

(2) 単元の見目標

①知識及び技能

- ア 職業や働くことと自分との関わりがわかる。
- イ 中学校卒業後の進路、職業に関する知識を身につける。

②思考力・判断力・表現力等

- ウ 働く人々の思いを踏まえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見直しをもって追究している。(課題の設定)
- エ 目的に応じて手段を選択し、情報を収集し適切な方法で蓄積している。(情報の収集)
- オ 自分の興味や適性を分析し、上級学校の学習や仕事の内容を比較する。(整理・分析)
- カ 調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。(まとめ・表現)
- キ 学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。(振り返り)

③学びに向かう力、人間性等

- ク 今後さらに進路に向けて関心を持ち、学習を続けていこうとする。(主体性)
- ケ 自他の良さを生かしながら、協力して課題の解決に向けた探求活動に取り組もうとしている。(協働性)
- コ 探究的な活動を通して、自分の生活及び将来の進路との関わりを見直し、自分の特徴や良さを理解している。(自己理解)
- サ 探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとしている。(他者理解)
- シ 探究的な活動を通して、働く意義を考え、積極的に様々な活動や体験に参加しようとしている。(社会参画)

2 単元設定の理由

(1) 教材について

昨今、「働く」と言っても、その働き方も多様で、様々な職業がある。現在の中学生在が大人になる頃には、今ある職業の半分はなくなり、新しい職業が登場するとも言われている。本単元では、現在の職業について調べるだけでなく、「なぜ働くのか」「何のために働くのか」を考えさせたい。地域で働く大人の思いを聞いたり、様々な職業を調べたりすることを通して、将来の進路・職業選択に対して考えるきっかけにしたい。

(2) 生徒について

生徒は、全体的に素朴で素直であり、生徒同士の仲が良い。また、多くの生徒が授業に集中して取り組み、静かに教師の話や生徒の意見を聞くことができる。加えて、授業中に積極的に挙手・発言をする生徒が多く見られる。また、課題や提出物をきちんと提出できる生徒も多い。生徒会や部活動にも熱心に取り組むことができ、それぞれの目標をもって活動に参加している。

一方で、自分の長所や適性が分からず、自己肯定感を感じられない生徒もいる。したがって、将来に対する目標が見いだせず、目の前の学習に意欲がもてないという面もある。

(3) 指導にあたって

まず「働く人」のドキュメンタリーを視聴し、「何のために働くのか」について、自分なりの考えをもたせたい。その後「お金をたくさんかせぐため」「社会や人のためにつくすため」「自分の趣味や特色を生かすため」「家族や生活のため」「自分のアイデアを生かすため」「その他」に分かれ、グループでその根拠を明らかにする。そして、それぞれのグループが発表を行う。

根拠を明らかにするためには、様々な職業や仕事内容、年収、働く人の思いが書かれた図書資料を活用する。読み取った内容を簡潔に記録し、整理するために、「情報カード」を使って情報を集める。また、根拠に説得力をもたせるためにワークシート（別紙）を用いる。

(4) 教科横断的な指導について

本学習をするにあたり、道徳で3学期に働く喜びと充実した生き方の追究を主題とした「そうじの神様が教えてくれたこと」を学習し、「働くこと」に対する意識を高めた。また、調べ学習を行うにあたり、図書資料から必要な情報を抜き出すために、国語科で2学期に行った「要約」の学習が生かせるであろう。

また、本学習を受けて、特別活動で「上級学校調べ」を行い、自分の働く意義と卒業後の進路を関連づけて考えられるようにしたい。

3 単元の指導と評価の計画（全11時間）

次	時	目標	主な学習活動	①	②	③	評価
1	1	自分を見つめ、適性や長所を考えることができる。	自己理解を深め、自分の興味や適性を分析する。		○		(オ) ワークシート
2	1	図書館やPCの使い方や注意点などを理解している。	図書館と情報活用について学習をする。	○			観察
3	6	働く人々の思いを踏まえて課題を設定することができる。	DVDを視聴し、「働く意義」について自分の考えをもつ。 同じ考えをもつ人どうしのグループに分かれる。(1)		○		(ウ) ワークシート
		・根拠となる図書資料を選び、必要な情報を得ることができる。(2) ・説得力のある説明ができるように、調べた内容を組み立てることができる。(2)	「働く意義」についての自分の主張をもとに、様々な図書資料やインタビューを通して根拠を考える。(4) ☆4時間のうち、3時間目が本時		○		(ウ)(エ)(ケ) ワークシート 観察
		・声の大きさや話し方を工夫しながら発表することができる。	発表する。(1)		○	○	(シ)(カ) ワークシート 発表原稿、態度
4	2	・自分の考えと比較しながら、話をきくことができる。	「地域で生きる人たち」に学ぶ。	○			(イ)(コ)(サ) ワークシート
5	1	・単元の学習を振り返り、自分の生活に生かすことができる。	今後の自分の進路を見据え、今の自分を高める。		○	○	(ア)(キ)(ク) ワークシート

4 単元の評価規準

評価の観点	学習方法に関すること		自分自身に関すること	他者や社会との関わり
	課題設定	思考・分析	将来展望	他者理解
単元の評価規準	<p>・働く人々の思いを踏まえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しをもって追求している。</p> <p>【ウ】</p>	<p>・目的に応じて手段を選択し、情報を収集し適切な方法で蓄積している。</p> <p>【エ】</p> <p>・自分の趣味や適性を分析し、上級学校の学習や仕事の内容を比較する。</p> <p>【オ】</p> <p>・調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。</p> <p>【カ】</p> <p>・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。</p> <p>【キ】</p>	<p>・職業や働くことと自分との関わりがわかる。</p> <p>【ア】</p> <p>・中学校卒業後の進路、就職に関わる知識を身につける。</p> <p>【イ】</p> <p>・探求的な活動を通して、自分の生活及び将来の進路との関わりを見直し、自分の特徴や良さを理解している。</p> <p>【コ】</p> <p>・今後さらに進路に向けて関心を持ち、学習を続けていこうとする。</p> <p>【ク】</p>	<p>・自他の良さを生かしながら、協力して課題の解決に向けた探求活動に取り組もうとしている。</p> <p>【ケ】</p> <p>・探求的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとしている。</p> <p>【サ】</p> <p>・探求的な活動を通して、働く意義を考え、積極的に様々な活動や体験に参加しようとしている。</p> <p>【シ】</p>

5 本時の学習（第3次 4時間目）

(1) 単元名 「自分のキャリアデザインをしよう！」

～「何のために働くのか」について、自分なりの考えをもとう！～

(2) 目標

・説得力のある説明を組み立てるために、解決の方法や手順を考え、見直しをもって課題を追究する。

(3) 展開

分	学習活動	教師の支援	評価
5	○本時の学習課題を確認する。	○本時の流れを示す。	
説得力のある説明にするために、必要な情報を選ぼう。			
10	○前時に収集した情報をグループで読み合う。	○情報カードを返却する。 ○ワークシートに記入させる。 ○必要に応じ資料の補充をする。	(ウ) (エ) (ケ) ワークシート 観察
15	○各グループの構想を聞き、互いに意見を出し合う。	○それぞれの構想を聞く際の視点を提示する。	
15	○説得力のある根拠となるように、必要な情報を選択する。	●適宜図書を紹介し、情報の取舍選択をするよう伝える。	
5	○本時の振り返りをし、次時の予定を確認する。	○次時は構成表を作成することを伝える。	

(4) 本時の評価

十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導と手立て
説得力のある根拠を選び、効果的な説明の順序を考えている。	収集した情報から根拠を選び、説明の順序を考えている。	わかりやすい説明はどんなものか考えてみるよう促す。

6 研究の視点

- Ⓐ 図書資料を活用することが課題解決のための有効な手立てになっていたか。
- Ⓑ 本課題は、生徒が職業や働くことを自分の身近な課題として捉えるために有効だったか。

7 研究協議の概要

参加者	校内 18 名 校外 18 名 計 36 名
授業及び研究協議の概要	<p>「何のために働くのか」について自分なりの考えをもつことを目標とした全 11 時間の学習の 6 時間目。グループの意見を説明するために必要な情報を選定し、意見をまとめる時間を公開した。</p> <p>もともとの自分の考えに図書資料から得た情報で新たな気づきが生まれていた。図書資料による根拠の設定ができていた。課題に対して意欲的に取り組んでおり、短時間でグループの考えをまとめていた。最終的なプレゼンテーションが楽しみである。並行読書で読み物を紹介すると読書への関心が高まる。などの意見が出た。</p>